

高等教育研究開発推進センター日誌

(2018年4月1日～2019年3月31日)

年 月 日	記 事
2018. 4. 5	文学研究科プレ FD プロジェクト事前研修会
4.10	教授 溝上 慎一 Hilton Minneapolis にて ISRI 2018 及び 2018 SRA Biennial Meeting に参加・情報収集のためアメリカへ海外出張 (4.16 帰国)
4.18	高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成 30 年度第 1 回)
4.24	関西地区 FD 連絡協議会第 15 回幹事会
5. 9	高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成 30 年度第 2 回)
5.19	<p>関西地区 FD 連絡協議会 第 11 回総会</p> <p>場所：大阪大学豊中キャンパス 基礎工学部国際棟 シグマホール</p> <p>プログラム：</p> <p>総会</p> <p>全体進行：大山 牧子 (大阪大学)</p> <p>開会挨拶：大久保 敦 (大阪市立大学)</p> <p>議事</p> <p>議長：佐藤 宏介 (大阪大学)</p> <p>進行：増澤 利光 (大阪大学)・大山 牧子 (大阪大学)</p> <p>① 平成 29 年度活動報告について</p> <p>② 平成 29 年度決算について</p> <p>③ 平成 30 年度活動方針について</p> <p>④ 平成 30 年度予算について</p> <p>⑤ 次期幹事校・監査校の選出について</p> <p>⑥ その他</p> <p>講演</p> <p>「中小規模大学におけるカリキュラム改革」</p> <p>講師：山本 啓一 (北陸大学 経済経営学部長／未来創造学部長／教授)</p> <p>ワークショップ</p> <p>「オリジナル・オンライン FD 教材をどう活用するか？」</p> <p>ファシリテーター：佐藤 浩章 (大阪大学全学教育推進機構)、他</p> <p>閉会挨拶：佐藤 宏介 (大阪大学)</p> <p>FD 活動報告 (ポスター発表) および情報交換会 (於：基礎工学部国際棟 ホワイエ)</p> <p>① 神戸大学「神戸大学における 2 学期クォーター制の効果と課題」</p> <p>② 関西福祉科学大学・関西女子短期大学「関西福祉科学大学における ICT の教学利用と利用率向上の取り組み」</p> <p>③ 大阪府立大学「大阪府立大学における学修成果可視化の試み」</p>

- ④ 京都大学「ICT活用教育のためのポータルサイト『CONNECT』の構築」
 - ⑤ 関西学院大学「関西学院大学におけるラーニングコモンズと学習活動の結びつきに関する実態調査」
 - ⑥ 京都外国語大学・京都外国語短期大学「京都外国語大学における学生情報の可視化とFDへの展開可能性—IRにおける可視化の仕組みと成果の活用に向けた取り組み—」
 - ⑦ 藍野大学・藍野大学短期大学部「学習成果の可視化から始める実質的なFD—医療系単科大学の取り組み—」
 - ⑧ 大阪大学「大阪大学におけるトランスファラブル・スキルズ・ワークショップの取り組み—RDFに基づいた体系化と学内連携による実践—」
 - ⑨ 大阪大学「大阪大学の新しい初年次教育の実施に向けて—学問への扉（マチカネゼミ）のコンセプトを中心に—」
 - ⑩ 大阪大学「LMSを活用したブレンド型学習環境の構築」
- 5.23 ミシガン州立大学の訪問・合同ワークショップ
場所：京都大学吉田南1号館201号室
- 5.29 教授 飯吉 透 香港大学にてAsiane-Table 2018に参加・講演のため香港へ海外出張（6.1帰国）
- 5.29～6.1 Air Forum 2018 参加（Rosen Shingle Creek 会議場・アメリカにて）
参加者：山田 剛史（高等教育研究開発推進センター准教授）
- 5.29～6.1 2018 Open edX Conference 参加（モントリオール大学・カナダにて）
参加者：Isanka Wijerathne（高等教育研究開発推進センター特定研究員）
- 6.13 高等教育研究開発推進センター運営会議（平成30年度第3回）
高等教育研究開発推進センター運営委員会（平成30年度第1回）
- 6.22 平成30年度科学研究費助成事業・基盤研究（B）新規
「分野固有性と汎用性の関係に着目した知識・能力（スキル）の形成と評価」
研究代表者：松下 佳代 高等教育研究開発推進センター教授
研究分担者：石井 英真 教育学研究科准教授
小野 和宏 新潟大学医歯学系教授
斎藤 有吾 藍野大学医療保健学部助教
深堀 聡子 九州大学教育改革企画支援室教授
- 平成30年度科学研究費助成事業・基盤研究（C）新規
「学生エンゲージメントを高める教授・学習環境に関する総合的研究」
研究代表者：山田 剛史 高等教育研究開発推進センター准教授
研究分担者：溝上 慎一 高等教育研究開発推進センター教授
- 平成30年度科学研究費助成事業・基盤研究（C）新規
「映像製作を手段とする教育実践のメソッド化研究」
研究代表者：長谷 海平 高等教育研究開発推進センター特定助教
- 6.23 平成30年度科学研究費助成事業・若手研究（B）継続

- 「プログラミング演習の学習科学的分析と初学者向け学習教材の開発」
研究代表者：岡本 雅子 高等教育研究開発推進センター特定助教
- 6.24 平成 30 年度科学研究費助成事業・基盤研究 (B) 継続
「学習成果に結実するアクティブラーニング型授業のプロセスと構造の実証的検討と理論化」
研究代表者：溝上 慎一 高等教育研究開発推進センター教授
研究分担者：本田 周二 大妻女子大学人間関係学部講師
長澤 多代 三重大学地域人材教育開発機構准教授
山田 邦雅 北海道大学高等教育推進機構准教授
森 朋子 関西大学教育推進部教授
紺田 広明 福岡大学教育開発支援機構講師
山田 嘉徳 大阪産業大学全学教育機構講師
三保 紀裕 京都学園大学経済経営学部准教授
- 平成 30 年度科学研究費助成事業・基盤研究 (C) 継続
「人文系科目におけるアクティブラーニング推進のための大学初任教員支援に関する研究」
研究代表者：田口 真奈 高等教育研究開発推進センター准教授
7. 6 高等教育研究開発推進センター協議員会 (平成 30 年度第 1 回)
- 7.18 高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成 30 年度第 4 回)
高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成 30 年度第 2 回)
- 8.21 大学院生のための教育実践講座 2018—大学でどう教えるか—
FD 研究検討委員会・高等教育研究開発推進センター主催
場所：京都大学百周年時計台記念館 2 階
【Basic】 プログラム：
開会式
挨拶
北野 正雄 (京都大学理事・副学長)
趣旨とプログラム説明
長沼祥太郎 (高等教育研究開発推進センター特定研究員)
ミニ講義 1 「大学を取り巻く状況と多様な授業実践」
松下 佳代 (高等教育研究開発推進センター教授)
グループ討論 1 4 人一組によるグループワーク 1
ランチと自由討論 グループをシャッフルして自由討論
コミュニケーションデザイン 「演劇でコミュニケーションデザイン」
蓮行 (劇団衛星)
ミニ講義 2 「私の授業実践」
斎藤 有吾 (藍野大学助教)
グループ討論 2 4 人一組によるグループワーク 2
グループ討論整理
ラップアップ
閉会式
挨拶・修了証授与

飯吉 透 (FD 研究検討委員会委員長／高等教育研究開発推進センター長・教授)
情報交換会

8.26～27

MOST フェロー合宿 2018

(第7期 MOST フェローシッププログラム第1回ミーティング)

場所：名城大学 名古屋ドーム前キャンパス 社会連携ゾーン shake

9. 7

全学教育シンポジウム

「京都大学の大学院教育の今とこれから」

主催：FD 研究検討委員会

場所：船井哲良記念講堂

プログラム：

司会進行：山田 剛史 (高等教育研究開発推進センター准教授)

開会挨拶・基調講演1：「京都大学の大学院・大々接続の現状と課題」

北野 正雄 教育担当理事・副学長

テーマ1：「本学の大学院教育改革：研究科等の取組」

(報告とパネルディスカッション)

モデレーター：松下 佳代 高等教育研究開発推進センター教授

報告者・パネリスト：

- ・組織再編による高度医療専門職と世界レベルの研究者の養成
足立 壯一 医学研究科人間健康科学系専攻長・教授
- ・教育学研究科の再編とこれから一大・大接続の観点から—
稲垣 恭子 教育学研究科長・教授
- ・大学院教育に対する工学研究科の取り組み
大嶋 正裕 副理事・工学研究科長・教授
- ・薬学部改革：より良い大学院教育を目指して
高倉 喜信 薬学研究科前研究科長・教授
- ・京都大学経営管理大学院グローバル化「iGSM」構想
—京大・コーネル大国際連携コース設置等による大学院教育改革—
原 良憲 経営管理研究部長・教授

基調講演2：「大学院教育をめぐる現状と課題」

山極 壽一 総長

テーマ2「大学院教育・専門家教育の新たな潮」(報告)

モデレーター：田口 真奈 高等教育研究開発推進センター准教授

報告者：

・プレFD

出口 康夫 戦略調整担当理事補・文学研究科教授

・現場で働く指導医のための医学教育学プログラム—FCME—

錦織 宏 医学研究科附属医学教育・国際化推進センター准教授

・共同学位プログラム／インターンシップ

杉野目道紀 戦略調整・教育担当理事補・工学研究科教授

・マイクロ・クレデンシャル

飯吉 透 教育担当理事補・高等教育研究開発推進センター長・教授

テーマ3：「大学院教育の未来」(パネルディスカッション)

モデレーター：飯吉 透 教育担当理事補・高等教育研究開発推進センター長・教授
 パネリスト：山極 壽一 総長
 北野 正雄 教育担当理事・副学長
 川添 信介 学生担当理事・副学長
 有賀 哲也 教育改革担当副学長・理学研究科教授
 喜多 一 情報環境機構長・国際高等教育院教授
 古藤 悟 三菱電機先端技術総合研究所技術顧問・
 (一社)産学協働イノベーション人材育成協議会理事

閉会挨拶
 情報交換会

- 9.11 高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成30年度第5回)
- 9.13 高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成30年度第3回)
- 9.17 教授 飯吉 透 タリン工科大学にて同大学創立100周年記念での講演のためエストニアへ海外出張 (9.23 帰国)
- 9.19 2018年度 京都大学新任教員教育セミナー
 FD研究検討委員会・高等教育研究開発推進センター主催
 場所：京都大学百周年時計台記念館2階国際交流ホール
 開会式
 司会・趣旨説明 高等教育研究開発推進センター准教授 山田 剛史
 セッション1
 オープニングレクチャー：「現在の大学教育の動向と京都大学の教育改革」
 理事・副学長 (教育・情報・評価担当) 北野 正雄
 セッション2
 ミニ講義：「埋め込み型研究公正教育のすすめ」
 文学研究科准教授 伊勢田 哲治
 セッション3：本学教員による授業実践紹介
 私の授業 理学研究科教授 沼田 英治
 セッション4：京大の教育・学習支援
 高等教育研究開発推進センター准教授 山田 剛史/田口 真奈
 セッション5：グループ別セッション (参加型セッション)
 【講】…担当講師、【77】…ファシリテーター
 テーマ1「京都大学の国際化をどのように進めるか」
 【講】国際戦略本部特定講師 フェルナンド・パラシオ
 【77】高等教育研究開発推進センター研究員 Nikan Sadehvandi /河野 亘
 テーマ2「研究室運営を考える」
 【講】学際融合教育研究推進センター准教授 宮野 公樹
 【77】高等教育研究開発推進センター特定助教 岡本 雅子
 テーマ3「困難を抱えた学生に向き合うには」
 【講】学生総合支援センターカウンセリングルーム准教授 中川 純子
 【77】高等教育研究開発推進センター特定研究員 鈴木 健雄
 テーマ4「アクティブラーニング型授業をやってみよう」

- 【講】薬学研究科講師 津田 真弘
 高等教育研究開発推進センター教授 松下 佳代
- 【77】高等教育研究開発推進センター研究員 川内 亜希子
- テーマ5「ICTを使って、普段の授業をもっと楽しく、ちょっと楽に」
- 【講】高等教育研究開発推進センター准教授 田口 真奈／酒井 博之
 情報環境機構教授 梶田 将司
- 【77】高等教育研究開発推進センター特定研究員 安宅 純子
- セッション6
 インテグレーションセッション
 閉会式
 閉会挨拶：高等教育研究開発推進センター教授 松下 佳代
- 10.10 高等教育研究開発推進センター運営会議（平成30年度第6回）
- 10.16 高等教育研究開発推進センター運営委員会（平成30年度第4回）
- 10.17 教授 飯吉 透 香港大学にてU21 Educational Innovation Leadership Summit 2018での講演のため香港へ海外出張（10.21 帰国）
11. 5 高等教育研究開発推進センター運営委員会（平成30年度第5回）
11. 6 高等教育研究開発推進センター運営会議（平成30年度第7回）
- 11.14～16 2018 edX Global Forum 参加（ボストンパークプラザホテル・アメリカにて）
 参加者：飯吉 透（高等教育研究開発推進センター教授）
 酒井 博之（高等教育研究開発推進センター准教授）
 Isanka Wijerathne（高等教育研究開発推進センター特定研究員）
- 11.27 高等教育研究開発推進センター協議員会（平成30年度第2回）
- 12.10 高等教育研究開発推進センター教育コンテンツ活用推進委員会（平成30年度第1回）
- 12.12 高等教育研究開発推進センター運営会議（平成30年度第8回）
- 12.21 第94回公開研究会
 「課題ベースのコアカリキュラムにおけるコースデザイン、インタラクティブな講義、教員支援のあり方について」
 講師：Dr. Gavin Porter
 （ハーバード大学メディカルスクール カリキュラム・フェロー）
 主催：京都大学高等教育研究開発推進センター
 場所：吉田南1号館2階201号室
- 12.26 高等教育研究開発推進センター・リトリート
 場所：吉田南1号館2階共212-1号室
2019. 1. 8 高等教育研究開発推進センター運営会議（平成30年度第9回）

- 2.14 高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成 30 年度第 10 回)
高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成 30 年度第 6 回)
- 2.19 文学研究科プレ FD プロジェクト 2018 年度事後研修会
- 2.22 高等教育研究開発推進センター協議員会 (平成 30 年度第 3 回)
- 2.23 教授 松下 佳代 クイーンズランド大学で研究課題にかかる打合せ、インタビュー、会議のためオーストラリアに海外出張 (2.28 帰国)
- 2.24 教授 飯吉 透・准教授 酒井 博之 香港理工大学にて USR (University Social Responsibility) MOOC プロジェクトについての打ち合わせのため香港へ海外出張 (2.27 帰国)
3. 5 教授 飯吉 透 アリゾナ州立大学にて The 9th International Learning Analytics & Knowledge Conference に参加のためアメリカへ海外出張 (3.10 帰国)
- 3.13 高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成 30 年度第 11 回)
- 3.20 高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成 30 年度第 7 回)
- 3.23~24 第 25 回大学教育研究フォーラム
協賛：学校法人河合塾教育イノベーション本部、関西地区 FD 連絡協議会
場所：京都大学吉田南総合館、吉田南 1 号館、百周年時計台記念館
プログラム：
■シンポジウム
開会の挨拶：北野 正雄 (京都大学教育・情報・評価担当理事)
趣旨説明：松下 佳代 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)
シンポジウム「高校から大学、大学から大学院、大学から社会へのトランジション」
北野 正雄 (京都大学理事・副学長)
高橋 俊之 (立教大学経営学部特任准教授)
山田 剛史 (京都大学高等教育研究開発推進センター准教授)
■特別講演
溝上 慎一 (学校法人桐蔭学園理事長代理、トランジションセンター所長・教授)
■パネルディスカッション
藤本 夕衣 (清泉女子大学・特任講師)
古川 雄嗣 (北海道教育大学旭川校・准教授)
坂本 尚志 (京都薬科大学・准教授)
■個人研究口頭発表 30 部会 117 件
■個人研究ポスター発表 115 件
■参加者企画セッション 13 件
- 3.24 第 7 期 MOST フェローシッププログラム修了式
- 3.25 第 8 期 MOST フェローシッププログラム第 1 回ミーティング
- 3.26~29 OPEN edX 2019 参加 (カリフォルニア大学サンディエゴ校にて)
参加者：Isanka Wijerathne (高等教育研究開発推進センター特定研究員)

(寺井 佐加恵)

高等教育研究開発推進センター組織

(2018年4月1日～2019年3月31日)

高等教育研究開発推進センター協議員：

北野 正雄 教育担当理事
飯吉 透 センター長
松下 佳代 センター教授
溝上 慎一 センター教授 (～8月)
喜多 一 情報環境機構長
田口 紀子 大学院文学研究科教授
稲垣 恭子 大学院教育学研究科教授
木南 敦 大学院法学研究科教授
島本 哲朗 大学院経済学研究科教授
平野 丈夫 大学院理学研究科教授
小西 靖彦 大学院医学研究科教授
竹本 佳司 大学院薬学研究科教授
米田 稔 大学院工学研究科教授
土井 元章 大学院農学研究科教授
小山 静子 大学院人間・環境学研究科教授
磯 祐介 大学院情報学研究科教授
緒方 広明 学術情報メディアセンター教授
吉崎 武尚 国際高等教育院教授

高等教育研究開発推進センター運営委員：

飯吉 透 センター長
松下 佳代 センター教授
溝上 慎一 センター教授 (～8月)
田口 真奈 センター准教授
酒井 博之 センター准教授
山田 剛史 センター准教授
森村 吉貴 センター特定准教授
岡本 雅子 センター特定助教
藤岡 千也 センター特定助教
長谷 海平 センター特定助教

高等教育研究開発推進センター学内研究担当教員：

出口 康夫 大学院文学研究科教授
楠見 孝 大学院教育学研究科教授
服部 憲児 大学院教育学研究科准教授
錦織 宏 大学院医学研究科附属医学教育・国際化推進センター准教授
村上 章 大学院農学研究科教授
緒方 広明 学術情報メディアセンター教授

梶田 将司 情報環境機構教授
 高見 茂 学際融合教育研究推進センター特任教授
 宮野 公樹 学際融合教育研究推進センター准教授

高等教育研究開発推進センター教育コンテンツ活用推進委員会：

飯吉 透 センター長
 酒井 博之 センター准教授
 田口 真奈 センター准教授
 児玉 聡 文学研究科・文学部准教授
 西岡加名恵 教育学研究科・教育学部教授
 原田 大樹 法学研究科・法学部教授
 坂出 健 経済学研究科・経済学部准教授
 伊藤 哲史 理学研究科・理学部准教授
 錦織 宏 医学研究科・医学部准教授
 金子 周司 薬学研究科・薬学部教授
 山本 量一 工学研究科・工学部教授
 平井 伸博 農学研究科・農学部教授
 西山 教行 人間・環境学研究科・総合人間学部教授
 下田 宏 エネルギー科学研究科教授
 東長 靖 アジア・アフリカ地域研究研究科教授
 川嶋 宏彰 情報学研究科准教授
 吉村 成弘 生命科学研究科准教授
 河合江理子 総合生存学館（思修館）教授
 西前 出 地球環境学堂・学舎准教授
 山内 裕 経営管理研究部・経営管理教育部准教授
 喜多 一 国際高等教育院教授
 梶田 将司 情報環境機構教授
 飯山 将晃 学術情報メディアセンター准教授
 外村孝一郎 企画・情報部 情報基盤課 教育用システム管理掛 掛長
 呑海 和彦 教育推進・学生支援部 教務企画課 課長補佐

高等教育研究開発推進センター教員業績

(2018年4月～2019年3月)

※職名は2018年度

第一部門 (高等教育教授システム研究開発部門)

飯吉 透 (教授)

1. 研究業績

【報告書】

- ・飯吉透 2019.3 「はじめに」京都大学高等教育研究開発推進センター『CPEHE Annual Report 2018』, 1.
- ・岡本雅子・田口真奈・酒井博之・飯吉透 2019.3 「Ⅲ. ICTの教育的活用 5. MOST (オンラインFD支援システム)」同上, 29.
- ・河野亘・飯吉透 2019.3 「Ⅴ. 国際連携 1. 国際シンポジウム『ブレンディッドな次世代高等教育を展望する—アジアのトップ大学のICT活用教育最前線—』」同上, 39.
- ・飯吉透 2019.3 「ごあいさつ」京都大学FD研究検討委員会『2018 京都大学のFD』, 1.

【著作物など】

- ・飯吉透 2018.7 「ブレンディッド化・多様化・個別化が進む未来のICT活用教育」『カレッジマネジメント』Vol. 211 Jul.–Aug. 2018, リクルート, 26–29.

2. 教育活動

【学内】

①全学共通教育

- ・ILAS セミナー「Introduction to Educational Innovation—New Trends in Learning and Teaching」(前期)

③大学院教育

- ・「高等教育システム演習」(教育学研究科, 前期)
- ・「高等教育論開発論研究A・B」(教育学研究科, 前・後期)
- ・「高等教育開発論基礎」(教育学研究科, 前期)

3. その他の活動

【学内委員】

- ・理事補 (教育担当)
- ・高等教育研究開発推進センター センター長
- ・FD研究検討委員会 委員長
- ・教育コンテンツ活用推進委員会 委員長
- ・教育制度委員会 委員
- ・入学試験委員会 委員
- ・高大接続・入試センター運営委員
- ・国際戦略本部運営協議会 協議員
- ・国際戦略本部運営協議会パートナーシップ専門部会 部会員
- ・国際戦略本部全学海外拠点運営専門部会 部会員
- ・全学情報セキュリティ委員会 委員

- ・高大接続科学教育ユニット運営協議会 協議員
- ・吉田南総合図書館協議会 協議員
- ・情報環境機構 KUINS 利用負担金検討委員会 委員
- ・白眉センター専門委員会 委員
- ・総合生存学館 協力教員

【社会活動】

- ・Asian Journal of the Scholarship of Teaching and Learning, Editorial Board Member
- ・私学高等教育研究所 客員研究員
- ・一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会 (JMOOC) 理事
- ・日本学術振興会卓越大学院プログラム審査・評価部会 委員
- ・関西地区 FD 連絡協議会 幹事校代表
- ・世界展開力強化事業「多文化主義的感性とコンフリクト耐性を育てる太平洋を越えた COIL 型日米教育実践」(東京外国語大学・国際基督教大学) 外部評価委員
- ・立命館宇治高等学校スーパーグローバルハイスクール (SGH) 運営指導委員会 委員
- ・京都大学サイエンスフェスティバル 審査員

【講演・シンポジウムなど】

- ・飯吉透 2018.5.30 “Promoting and Enabling Technology-Enriched Learning Challenges and Strategies”, Invited Lecture, Asian e-Table, University of Hong Kong, Hong Kong
- ・飯吉透 2018.6.8 「AI 時代における個人のための Enabler としての MOOC」 New Education EXPO Tokyo, 東京ファッションタウンビル
- ・飯吉透 2018.6.15 「AI 時代における個人のための Enabler としての MOOC」 New Education EXPO Osaka, 大阪マーチャングッズ・マート
- ・飯吉透 2018.9.20 “Inventing the Future of Higher Education: Technology-Enhanced Learning & Teaching, AI, and Our Lifelong Learning”, TalTech Digital, Invited Talk, Tallinn University of Technology, Estonia
- ・飯吉透 2018.10.19 “Opening Up Programmes: Flexibility and the UG Graduate of Tomorrow”, Invited Panel, U21 Educational Innovation Leadership Symposium, University of Hong Kong, Hong Kong
- ・飯吉透 2018.12.2 “Inter-sectorial Collaboration in Promoting Social Responsibility through Innovation and Entrepreneurship: Practices and Challenges at Kyoto University”, University Social Responsibility Summit 2018, University of Haifa, Israel
- ・飯吉透 2018.12.14 「大学における教育的課題解決と ICT 活用の可能性」 manaba ユーザ会基調講演, フクラシア丸の内オアゾ
- ・飯吉透 2018.12.15 「学び方・教え方・働き方の未来: AI やテクノロジーがもたらす教育・仕事革命」京都理容美容専修学校近畿地区研修会講演, 京都理容美容専修学校
- ・飯吉透 2018.12.26 「グローバルな教育のオープン化が変える日本と世界の教育の未来」三国丘高校スーパーグローバルハイスクール特別講義, 京都大学
- ・飯吉透 2019.2.23 「AI 時代の大学での学び」第 9 回学士課程教育機構 FD・SD セミナー (2018 年度「大学再生加速プログラム (AP) 事業報告会」) 講演, 創価大学
- ・飯吉透 2019.3.1 「京都大学における大学改革の取組」平成 30 年度 大学トップマネジメント研修総括シンポジウム, 政策研究大学院大学

松下 佳代 (教授)

1. 研究業績

【著書】

(分担執筆)

- ・松下佳代 2018.9 「ディープ・アクティブラーニングの考え方と方法」関西国際大学編『大学教学マネジメントの自律的構築—主体的学びへの大学創造 20 年史—』東信堂, 157-176.

- ・松下佳代 2018.10 「コンピテンシーの多面性と算数・数学教育にとっての意味」小寺隆幸編『主体的・対話的に深く学ぶ算数・数学教育—コンテンツとコンピテンシーを見すえて—』ミネルヴァ書房, 67-85.
- ・松下佳代 2019.2 「まえがき」グループ・ディダクティカ編『深い学びを紡ぎだす—教科と子どもの視点から—』勁草書房, i-v.
- ・松下佳代 2019.2 「資質・能力とアクティブ・ラーニングを捉え直す—なぜ、『深さ』を求めるのか—」グループ・ディダクティカ編『深い学びを紡ぎだす—教科と子どもの視点から—』勁草書房, 3-25.
- ・松下佳代 2019.3 「深い学びを促す対話型論証」新潟大学教育学部附属新潟中学校研究会編『「主体的・対話的で深い学び」をデザインする「学びの再構成」』東信堂, 2-5.

【論文】

- ・杉山芳生・松下佳代 2018.5 「PBL (Problem-Based Learning) の多分野展開における変容—三重大学を事例として—」『大学教育学会誌』第40巻第1号, 73-82.
- ・Matsushita, K., Ono, K., & Saito, Y. 2018.11 Combining course- and program-level outcomes assessments through embedded performance assessments at key courses: A proposal based on the experience from a Japanese dental education program. *Tuning Journal for Higher Education*, 6(1), 111-142. (doi.org/10.18543/tjhe-6(1)-2018 pp. 111-142)
- ・小野和宏・斎藤有吾・松下佳代 2018.12 「PBLを評価する改良版トリプルジャンプにおける『学習としての評価』の要因」『京都大学高等教育研究』第24号, 35-44.
- ・飯尾健・溝口侑・香西佳美・大森俊典・渡邊智也・平山朋子・小山理子・松下佳代 2018.12 「メディア情報リテラシーのパフォーマンス評価の開発」『京都大学高等教育研究』第24号, 91-94.
- ・森朋子・松下佳代 2019.3 「深い学びに寄与するグループ活動のデザイン—思考と活動の乖離を乗り越えるために—」『名古屋大学高等教育研究』第19号, 141-152.
- ・松下佳代 2019.3 「教育方法学の拡張と危機—教育心理学との対話の必要性—」『教育心理学年報』第58集, 228-230.

【その他の著作物】

(報告書)

- ・松下佳代 2018.5 「なぜ、『深さ』が必要なのか—能力・学習・評価のつながりから考える—」『教育PRO』第48巻第12号, 2-17.
- ・松下佳代 2018.11 「これからのカリキュラムと評価—『資質・能力の3つの柱』を見直す—」『「未来のマナビフェス」2018年度実施報告書』河合塾, 24-25.
- ・松下佳代 2019.2 「ディープ・アクティブラーニングへの誘い—『資質・能力』と学びをつなぐ—」(第80回教育実践指導研究会講演記録) お茶の水女子大学附属小学校・NPO法人お茶の水児童教育研究会編『児童教育』第29号, 19-24.
- ・松下佳代 2019.3 「高次の能力を捉えるための評価—パフォーマンス評価のデザイン—」『同志社女子大学FDレポート』第12号, 2-14.
- ・松下佳代・長沼祥太郎 2019.3 「全学教育シンポジウム」京都大学高等教育研究開発推進センター『CPEHE Annual Report 2018』, 2-4.
- ・松下佳代 2019.3 「『3つのポリシー』勉強会」同上, 5.
- ・松下佳代・長沼祥太郎 2019.3 「大学院生のための教育実践講座」同上, 12.
- ・松下佳代 2019.3 「医学教育・国際化推進センターとの連携」同上, 14.
- ・松下佳代・長沼祥太郎 2019.3 「薬学部との連携」同上, 15.
- ・田口真奈・松下佳代 2019.3 「宇宙総合学研究ユニットとの連携」同上, 16.
- ・河野亘・鈴木健雄・長谷海平・田口真奈・松下佳代 2019.3 「高校生を対象としたオンライン講義の開発」同上, 25-26.
- ・松下佳代・長沼祥太郎 2019.3 「MSU (Michigan State University) との交流」同上, 40.
- ・松下佳代 2019.3 「コミュニティ・ネットワーク形成支援」同上, 42-43.

(新聞記事)

- ・松下佳代 2018.4.27 「“社会人能力”テストで測定」『読売新聞(くらし・教育欄)』第5111号, 31.

【学会発表】

- ・松下佳代・小野和宏・斎藤有吾 2018.6.10 「科目レベルとプログラムレベルの評価をつなぐ—重要科目での埋め込み型

- パフォーマンス評価 (PEPA) を通して」大学教育学会第 40 回大会, 筑波大学.
- ・小野和宏・松下佳代・斎藤有吾 2018.6.10 「科目レベルとプログラムレベルの評価をつなぐ—新潟大学歯学部における重要科目での埋め込み型パフォーマンス評価 (PEPA) —」大学教育学会第 40 回大会, 筑波大学.
 - ・飯尾健・溝口侑・香西佳美・大森俊典・渡邊智也・平山朋子・小山理子・松下佳代 2018.6.10 「大学生のメディア情報リテラシーの直接評価に関する研究—メディア情報リテラシーの意義とパフォーマンス評価の開発—」大学教育学会第 40 回大会, 筑波大学.
 - ・溝口侑・飯尾健・香西佳美・大森俊典・渡邊智也・平山朋子・小山理子・松下佳代 2018.6.10 「大学生のメディア情報リテラシーの直接評価に関する研究—パフォーマンス課題の実施を通じた課題およびルーブリックの妥当性の検討—」大学教育学会第 40 回大会, 筑波大学.
 - ・松下佳代 2018.9.17 「教育方法学の拡張と危機—教育心理学との対話の必要性—」日本教育心理学会第 60 回総会, 慶應義塾大学日吉キャンパス.
 - ・松下佳代 2018.9.29 「『資質・能力』のオルターナティブ・モデルにもとづく授業デザイン」日本教育方法学会第 54 回大会, 和歌山大学.
 - ・丹原惇・小野和宏・松下佳代・斎藤有吾・秋葉陽介・西山秀昌 2018.12.1 「論証モデルを用いたアカデミックライティングの授業デザインの有効性—初年次と 2 年次のレポート評価結果にもとづいて—」大学教育学会 2018 年度課題研究集会, 長崎国際大学.
 - ・松下佳代 2019.3.23 「学習成果の評価の枠組み—分野固有性と汎用性をめぐって—」第 25 回大学教育研究フォーラム (参加者企画セッション「汎用的能力は評価することができるのか」), 京都大学.
 - ・斎藤有吾・松下佳代 2019.3.23 「専門基礎科目『医療統計学』におけるディープ・アクティブラーニングの実践—エビデンスを評価する能力の転移に注目して—」第 25 回大学教育研究フォーラム, 京都大学.
 - ・杉山芳生・松下佳代 2019.3.23 「医療分野における PBL の中断・縮小実態に関する事例分析」第 25 回大学教育研究フォーラム, 京都大学.
 - ・香西佳美・田口真奈・水村好貴・寺田昌弘・松下佳代・土井隆雄・柴田一成 2019.3.23 「学際的な授業科目における学生の学びの分析—京都大学全学共通科目『宇宙総合学』受講生の理系・文系による違い—」第 25 回大学教育研究フォーラム, 京都大学.
 - ・田口真奈・香西佳美・松下佳代・水村好貴・寺田昌弘・土井隆雄・柴田一成 2019.3.23 「大人数リレー講義における評価・学習ツールとしてのコンセプトマップの活用—京都大学全学共通科目『宇宙総合学』を事例として—」第 25 回大学教育研究フォーラム, 京都大学.
 - ・高須清誠・山下富義・津田真弘・柿澤昌・矢野義明・長沼祥太郎・松下佳代 2019.3.24 「博士人材の育成を目指す京都大学薬学部における初年次アクティブラーニング科目『SGD 演習』の試み」第 25 回大学教育研究フォーラム, 京都大学.
 - ・長沼祥太郎・松下佳代・高須清誠・山下富義・津田真弘 2019.3.24 「京都大学薬学部における初年次アクティブラーニング科目『SGD 演習』の効果検証の枠組みの設計」第 25 回大学教育研究フォーラム, 京都大学.

2. 教育活動

【学内】

①全学共通教育

- ・ILAS セミナー「学力・学校・社会」(前期)

③大学院教育

- ・「高等教育開発論研究 A・B」(教育学研究科, 前・後期)
- ・「高等教育方法演習 A・B」(教育学研究科, 前・後期)
- ・「高等教育開発論基礎」(教育学研究科, 前期)
- ・「教育科学基盤演習」(教育学研究科, 前期)
- ・「大学で教えるということ」(大学院横断教育科目群, 後期集中)

3. その他の活動

【学内委員】

- ・ 京都大学点検・評価実行委員会委員
- ・ 京都大学男女共同参画推進センター ワーキンググループ事業推進員（2018年10月1日～）
- ・ センター自己点検評価委員会委員
- ・ 附属図書館研究開発室室員
- ・ 吉田南総合図書館運営委員会委員、同協議会協議員
- ・ 教育学研究科教務委員
- ・ 博士学位論文調査委員（山田勉）

【社会活動】

- ・ 日本学術会議会員
- ・ 大学教育学会理事，副会長，学会誌編集委員
- ・ 日本カリキュラム学会代表理事
- ・ 日本教育方法学会理事
- ・ 教育目標・評価学会理事
- ・ 文部科学省中央教育審議会臨時委員（大学分科会）（2018年12月18日～2019年2月14日）
- ・ 九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発拠点運営委員会委員
- ・ 名古屋大学高等教育研究センター質保証を担う中核教職員能力開発拠点運営委員会委員
- ・ 山口大学大学教育再生加速プログラム（AP事業）アドバイザー
- ・ 関西大学教育再生加速プログラム（AP事業）スーパーバイザー
- ・ 山梨学院大学附属小学校学習カリキュラムセンター客員研究員
- ・ 東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所共同研究「子どもの生活と学び」研究プロジェクト推進会議委員
- ・ 高槻中学校・高等学校 SGH 運営指導委員，アドバイザー
- ・ 国立教育政策研究所「チューニングによる大学教育のグローバル質保証—テスト問題バンクの取組—」委員

【講演】

- ・ 松下佳代 2018.4.9 「人文・社会科学の教育・研究の支援—京都大学の場合」日本学術会議第一部人文・社会科学の役割とその振興に関する分科会，関西学院大学東京丸の内キャンパス.
- ・ 松下佳代 2018.4.25 「未来につながる学びへのアプローチ」高槻中学校新入生歓迎講演，高槻中学校.
- ・ 松下佳代 2018.5.10 「授業デザインのポイント」平成30年度奈良県立医科大学FD講演会，奈良県立医科大学.
- ・ 松下佳代 2018.5.16 「深い学びをどう実現するか」主体的・対話的で深い学び研修会2，京都府立桃山高等学校.
- ・ 松下佳代 2018.5.25 「深い学びをどう実現するか」平成30年度第一回コアティーチャー連絡協議会，滋賀県大津合同庁舎
- ・ 松下佳代 2018.6.7 「『論証モデル』と『三角ロジック』—思考力・判断力・表現力の育成のためのツール—」高槻中学校・高等学校 AL 推進チーム研修，高槻中学校・高等学校.
- ・ 松下佳代 2018.6.21 「『論証モデル』と『三角ロジック』—思考力・判断力・表現力の育成のためのツール—」高槻中学校・高等学校 全体研修，高槻中学校・高等学校.
- ・ 松下佳代 2018.6.22 「いま求められる教育：ディープ・アクティブラーニング」平成30年度講師会，ベルランド看護助産大学校.
- ・ 松下佳代 2018.7.25 「学習のための／学習としての評価」校内研修会，清心中学校・清心女子高等学校.
- ・ 松下佳代 2018.7.31 「国語教育における深い学びの可能性」香川県中学校教育研究会国語部会夏季研修会，香川県社会福祉総合センター.
- ・ 松下佳代 2018.8.9 「これからのカリキュラムと評価—『資質・能力の3つの柱』を見直す—」未来の学びフェス—2030年の学びをデザインする—，武蔵野大学有明キャンパス.
- ・ 松下佳代 2018.8.21 「大学を取り巻く状況と多様な授業実践」大学院生のための教育実践講座2018，京都大学.
- ・ 松下佳代 2018.8.23 「学生の能力を評価・育成する方法としてのパフォーマンス評価—科目レベルからプログラムレベルへ—」第8回大学コンソーシアム八王子FD・SDフォーラム，八王子市学園都市センター.

- ・松下佳代 2018.8.28 「ディープ・アクティブラーニングのすすめ」日本看護学教育学会第28回学術集会, パシフィコ横浜.
- ・松下佳代 2018.9.3 「大学生のコンピテンシー育成と高大接続の課題」大学入試センター・シンポジウム, 一橋講堂.
- ・松下佳代 2018.9.24 「分野別参照基準と学習成果—分野別固有性・分野横断性・汎用性—」シンポジウム「分野別参照基準の目指す大学教育の質保証」, 国際基督教大学.
- ・松下佳代 2018.9.27 「論証モデルを活用してどのように深い学びを実現するか」高槻中学校・高等学校 AL推進チーム研修, 高槻中学校・高等学校.
- ・松下佳代 2018.10.17 「高次の能力を捉えるための評価—パフォーマンス評価のデザイン—」2018年度同志社女子大学FD講習会, 同志社女子大学京田辺キャンパス.
- ・松下佳代 2018.10.19 「資質・能力をどのように育成し, どのように評価するのか—『深い学び』を考えることを通して—」新潟大学教育学部附属新潟中学校 平成30年度教育研究発表会, 新潟大学教育学部附属新潟中学校.
- ・松下佳代 2018.10.20 「高校の学びとは何か—未来につながる挑戦—」京都大学 学びのフロンティア2018, 高槻中学校・高等学校.
- ・松下佳代 2018.11.1 「論証モデルを活用してどのように深い学びを実現するか」高槻中学校・高等学校 全体研修, 高槻中学校・高等学校.
- ・松下佳代 2018.11.16 「学びを深めるプロセス—教科における探究とは—」東京学芸大学附属小金井中学校 平成30年度教育研究協議会, 東京学芸大学附属小金井中学校.
- ・松下佳代 2018.11.22 「アクティブ・ラーニングに深さを加える—ディープ・アクティブラーニングの考え方と方法—」平成30年度大分県小中高合同理科授業研究会, 大分県立日田林工高等学校.
- ・松下佳代 2018.12.7 「コンピテンシーvs. コンテンツをこえて」平成30年度高知大学AP事業シンポジウム, 高知市文化プラザカルポート.
- ・松下佳代 2018.12.23 「資質・能力のモデルと評価の問題」障害児教育の教育目標・評価に関する研究会「資質・能力論と障害児教育(第2回)」, 鳥取大学地域学部.
- ・松下佳代 2019.2.9 「学習成果とは何か—その評価と教育・学習改善への活かし方—」大阪府立大学・大阪市立大学・関西大学合同フォーラム「いま, あらためて学習成果とは何かを問う: 第3期認証評価の先のFDを目指して」, 関西大学梅田キャンパス.
- ・松下佳代・田口真奈 2019.2.10 「宇宙総合学で学生は何を学んだか—コンセプトマップから見る—」第12回宇宙ユニットシンポジウム「人類は宇宙社会をつくれるか?—宇宙教育を通じた挑戦—」京都大学.
- ・松下佳代 2019.2.16 「論証モデルを活用してどのように深い学びを実現するか」高槻中学校・高等学校第3回アクティブラーニング公開研究会, 高槻中学校・高等学校.
- ・松下佳代 2019.3.2 「学習成果の評価の最前線」藍野大学FD/SD公開研修会「大学の特色を活かした〈入試改革〉と〈学習成果の可視化〉」藍野大学藍野ホール.
- ・松下佳代 2019.3.6 「医療系のためのパフォーマンス評価」川崎医療福祉大学FD・SD研修会, 川崎医療福祉大学.
- ・松下佳代 2019.3.8 「ディープ・アクティブラーニングとその評価」小学校英語評価ワークショップ in 京都「Can-Do & パフォーマンス評価」(EASEL 2018年度第2回), 京都教育大学藤森キャンパス.
- ・松下佳代 2019.3.16 「教育学分野の参照基準の全体構想」教育関連学会連絡協議会公開シンポジウム「教育学教育のあり方と教職課程カリキュラムの再検討—教育学分野の参照基準の作成に向けて—」学習院大学.
- ・松下佳代 2019.3.19 「学位プログラムレベルの評価と授業科目レベルの評価をつなぐ」カリキュラム設計担当者養成プログラム(上級編), 九州大学伊都キャンパス.
- ・松下佳代 2019.3.22 「学習を促す教育・学習データの活用—高槻中高でのe-Portfolioを用いた実践—」日本学術会議公開シンポジウム「ラーニングアナリティクスによるエビデンスに基づく教育に関する国際シンポジウム」, 京都大学吉田キャンパス.
- ・松下佳代 2019.3.26 「あらためて, コンピテンシーについて考える—学校・大学と社会をつなぐ視点—」リクルートワークス研究所主催シンポジウム「大学教育と大学教員の未来像—目指すべき学習成果, 求められる教育行動を探る」, 成城大学.

溝上 慎一 (教授) (~8月)

1. 研究業績

【著書】

- ・ 溝上慎一 2018.5 「アクティブ・ラーニング」楠見孝(編)『教育心理学(教職教養講座第8巻)』協同出版, 113-128.
- ・ 溝上慎一 2018.8 『大学生白書2018—いまの大学教育では学生を変えられない—』東信堂

【論文】

- ・ Mizokami, S., Côté, J. E., Eichas, K., & Toyokawa, T. 2018.4 Do Japanese youth proactively form identities?: An investigation of independent self formation. *Identity*, 18(2), 109-123. (査読付き)
- ・ 溝上慎一 2018.5 「アクティブラーニングの効果検証—最終年の報告—」『大学教育学会誌』第40巻第1号, 27-28. (査読付き)

【学会発表】

- ・ 登本洋子・溝上慎一・堀田龍也 2018.8.26 「日本における探究学習と科学的リテラシー・情報リテラシーとの関係性の整理」日本教育情報学会第34回年会, 松蔭大学

2. 教育活動

【学内】

③大学院教育

- ・ 「高等教育開発論研究 A」(教育学研究科, 前期)
- ・ 「高等教育開発論基礎」(教育学研究科, 前期)

3. その他の活動

【社会活動】

- ・ 日本青年心理学会『青年心理学研究』編集委員
- ・ 文部科学省中央教育審議会大学分科会将来構想部会ワーキンググループ臨時委員
- ・ 大学教育学会理事
- ・ 日本青年心理学会常任理事
- ・ Journal of Adolescence, Editorial Board 委員
- ・ 産業能率大学 AP 実行委員会外部委員
- ・ 大阪大学大学院人間科学研究科外部評価委員
- ・ 龍谷大学経済学部授業内ピアサポーター有識者会議委員
- ・ 文部科学省生涯学習政策局「社会人の学びの情報アクセス改善に向けた実践研究」審査委員
- ・ 学校法人河合塾教育イノベーション本部研究顧問
- ・ 立命館守山高等学校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員

【講演】

- ・ 溝上慎一 2018.4.5 「アクティブラーニング型授業, キャリア教育の背景となる発達の理解」花園学園研修講師
- ・ 溝上慎一 2018.5.14 「トランジションを見据えた組織的なアクティブラーニング型授業への転換」帝塚山学院中学校高等学校講演
- ・ 溝上慎一 2018.5.21 「高大接続・トランジションに向けてのアクティブラーニング型授業の組織的推進」清教学園研修
- ・ 溝上慎一 2018.5.27 「EDGE プログラムの教育効果を示すためにどのような測定をすればよいか」日本ベンチャー学会起業家教育推進委員会主催講演
- ・ 溝上慎一 2018.6.1 「アクティブラーニング(主体的・対話的で深い学び)の視点から個と協働の力をともに育てる—2030年以降を見据えた学校教育の社会的機能の転換—」秋田大学教育文化学部附属中学校主催公開研究会講演
- ・ 溝上慎一 2018.6.12 「基礎学力の定着に向けたアクティブラーニング型授業の発展」滋賀県立玉川高等学校教員研修講師
- ・ 溝上慎一 2018.6.14 「トランジションを見据えたアクティブラーニング型授業への組織的転換」久留米市立南筑高等学校講演

- ・溝上慎一 2018.6.20 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」2018年度立命館中学校・高等学校公開授業研究会記念講演
- ・溝上慎一 2018.6.21 「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現に向けて—新学習指導要領をふまえて—」南丹市立園部中学校研究授業研修
- ・溝上慎一 2018.6.22 「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の組織的発展に向けて—新学習指導要領をふまえて—」大阪府立岸和田高等学校校内研修
- ・溝上慎一 2018.6.28 「進学校における『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けて」静岡高等学校研修会
- ・溝上慎一 2018.7.3 「アクティブラーニングを活かした授業改善について」向日市立向陽小学校校内研修会
- ・溝上慎一 2018.7.6 「『基礎力定着』とは？—事業3年目を迎えて—」第1回山形県高等学校基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業検討会議
- ・溝上慎一 2018.7.14 「高大接続・トランジションに向けての教育改革」多摩大学目黒中学校・高等学校講演
- ・溝上慎一 2018.8.2 「仕事・社会へのトランジション、資質・能力の育成を見据えた主体的・対話的で深い学びへの転換」舞鶴教育講演会
- ・溝上慎一 2018.8.6 「トランジション・レクチャー」リーダー育英塾講演
- ・溝上慎一 2018.8.10 オープニングセッション「2030年社会と学校教育—2日間のキーワードの基礎的理解—」、リフレクションセッション「生徒学生を学び育てるトランジション方略—『変わらない』から『変える』へ—」未来のマナビフェス 2018—2030年の学びをデザインする—
- ・溝上慎一 2018.8.11 「人の発達をふまえた学校教育を再構築する—授業改革とキャリア教育—」第二回ユマニテク短大キャリア教育フォーラム講演
- ・溝上慎一 2018.8.23 「『Thinking Design』『Critical Thinking』の授業」から組織的なアクティブラーニング型授業の推進について」立命館守山中学校・高等学校教員研修会
- ・溝上慎一 2018.8.24 「アクティブラーニング型授業の組織的推進—生徒学生を学び育てるトランジションリレーへ—」岐阜県立加納高等学校講演会
- ・溝上慎一 2018.8.29 「意味ある対話（関わり）によるインタラクション」静岡サレジオ夏季教職員研修会
- ・溝上慎一 2018.8.30 「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けて」横浜創英中学・高等学校平成30年度全教職員研修

【その他】

(新聞・雑誌)

- ・溝上慎一 2018.4.1 「連載第1回：アクティブラーニングも主体的・対話的で深い学びも、ポイントは外化にあり」明治図書出版『教育科学 国語教育』No. 820.
- ・溝上慎一 2018.4.5 「主体的・対話的で深い学び—ポイントは外化の実現—（次期学習指導要領改訂のポイントをどう考えるか①）」『教育新聞』
- ・溝上慎一 2018.5.1 「連載第2回：外化を促してこそその深い学びであり資質能力の育成である」明治図書出版『教育科学 国語教育』No. 821.
- ・溝上慎一 2018.6.1 「連載第3回：全員の子どもに外化を促すワークシートベースの授業」明治図書出版『教育科学 国語教育』No. 822.
- ・溝上慎一 2018.7.1 「連載第4回：アクティブラーニング型授業における教師と生徒の関係性と生徒の身体化」明治図書出版『教育科学 国語教育』No. 823.
- ・溝上慎一 2018.8.1 「連載第5回：アクティブラーニング型授業における生徒同士の学び合い」明治図書出版『教育科学 国語教育』No. 824.

田口 真奈 (准教授)

1. 研究業績

【著書】

- ・田口真奈 2019.3.27 「FDとしての授業研究」吉崎静夫監修・村川雅弘・木原俊行編集『授業のフロンティア』ミネルヴァ書房

【論文】

- ・ Takayuki Goto & Mana Taguchi 2018.6 Motivation for learning in Massive Open Online Courses differs according to the learners' socioeconomic backgrounds: Meta-analytical results of synthesizing seven courses. 『人間環境学研究 (Journal of Human Environmental Studies)』 第16巻第1号, 17-23.
- ・ Sachika Shibukawa & Mana Taguchi 2018.7 How Students Prepare in Flipped Classrooms: A Case Study in a Physiology Class. 2018 *International Symposium on Educational Technology*, 73-77.
- ・ 梁琳娟・田口真奈 2018.12 「中国における大規模語学教育プラットフォーム『沪江』の教授機能分析」『日本教育工学会論文誌』 第42巻増刊号, 173-176.
- ・ 田口真奈・後藤崇志・毛利隆夫 2019.2 「グローバル MOOC を用いた反転授業の事例研究—日本人学生を想定した授業デザインと学生の取り組みの個人差—」『日本教育工学会論文誌』 第42巻第3号, 255-269.

【その他の著作物】

(報告書)

- ・ 田口真奈 2018.11 「KPC-3によるパラボリックフライト実施報告」『宇宙総合学NEWS』 2018年11月号, 1-2.
- ・ 鈴木健雄・田口真奈 2019.3 「プレFD (1) 文学研究科プレFD プロジェクト」京都大学高等教育研究開発推進センター『CPEHE Annual Report 2018』, 10.
- ・ 鈴木健雄・田口真奈 2019.3 「プレFD (2) 大学コンソーシアム京都・単位互換リレー講義」同上, 11.
- ・ 田口真奈・松下佳代 2019.3 「他部局との連携 (3) 宇宙総合研究ユニットとの連携」同上, 16.
- ・ 河野亘・鈴木健雄・長谷海平・田口真奈・松下佳代 2019.3 「高校生を対象としたオンライン講義の開発」同上, 25-26.
- ・ 鈴木健雄・河野亘・田口真奈 2019.3 「教育コンテンツ活用推進委員会」同上, 27-28.
- ・ 岡本雅子・田口真奈・酒井博之・飯吉透 2019.3 「MOST (オンラインFD支援システム)」同上, 29.
- ・ 鈴木健雄・河野亘・田口真奈 2019.3 「ICT活用教育のためのポータルサイト (CONNECT)」同上, 30-31.
- ・ 鈴木健雄・河野亘・田口真奈 2019.3 「高大接続を促進するためのポータルサイト (KNOT)」同上, 32.

(その他)

- ・ 田口真奈 2018.9 「学びへの意欲を呼び覚ます『京大らしい』授業とは」紅萌, 第34号, 16-17.

【学会発表】

- ・ 田口真奈・香西佳美 2018.5.27 「大学におけるアクティブラーニング型授業デザインのためのマトリクスの開発」日本教育工学会研究会, 関西大学
- ・ 香西佳美・田口真奈 2018.5.27 「プレFDプログラムにおけるアクティブラーニング型授業の実践経験がその後の授業実践に与える影響」日本教育工学会研究会, 関西大学
- ・ Sachika Shibukawa & Mana Taguchi 2018.8.1 “How Students Prepare in Flipped Classrooms: A Case Study in a Physiology Class”, 2018 International Symposium on Educational Technology, Kansai University
- ・ 田口真奈・鈴木健雄・飯尾健・藤岡千也・河野亘・飯吉透 2018.9.28 「オープンコンテンツを活用した高大接続を促進するためのポータルサイトの構築」日本教育工学会第34回全国大会, 東北大学
- ・ 香西佳美・田口真奈 2018.9.28 「AL型授業の実践経験が大学初任教員の授業力量に与える影響—授業デザインおよび授業観の変化に着目して」日本教育工学会第34回全国大会, 東北大学
- ・ 稲葉利江子・辻靖彦・高比良美詠子・田口真奈 2018.9.29 「高等教育機関における授業におけるICTツールの利用傾向」日本教育工学会第34回全国大会, 東北大学
- ・ 辻靖彦・高比良美詠子・稲葉利江子・田口真奈 2018.9.29 「日本の大学におけるICT導入効果の経年比較と規模別分析」日本教育工学会第34回全国大会, 東北大学
- ・ 梁琳娟・田口真奈 2018.9.29 「大規模語学教育プラットフォーム『沪江』における日本語学習者の学生関与を促す機能の分析」日本教育工学会第34回全国大会, 東北大学
- ・ 岩田貴帆・田口真奈 2018.9.30 「自己評価能力を向上させるための相互評価活動を促進するワークシートの開発」日本教育工学会第34回全国大会, 東北大学
- ・ 澁川幸加・田口真奈 2018.9.30 「反転授業における学生の事前学習への取り組み方と成績の関係」日本教育工学会第34回全国大会, 東北大学

- ・岩田貴帆・田口真奈 2018.10.14 「相互評価活動を取り入れた授業実践における学生の自己評価の変容：自己評価とピア評価のズレに着目して」日本教育工学会研究報告集, 第18巻第4号, 9-16.
- ・Yasuhiko Tsuji, Rieko Inaba, Mieko Takahira & Mana Taguchi 2018.11.29 “Differences of university’s ICT introduction effects by the university scale and the presence of technical or educational support system”, *Proceedings of the 26th International Conference on Computers in Education (ICCE 2018)*, 799-800.
- ・香西佳美・田口真奈・水村好貴・寺田昌弘・松下佳代・土井隆雄・柴田一成 2019.3.23 「学際的な授業科目における学生の学びの分析—京都大学全学共通科目『宇宙総合学』受講生の理系・文系による違い—」第25回大学教育研究フォーラム, 京都大学
- ・田口真奈・香西佳美・松下佳代・水村好貴・寺田昌弘・土井隆雄・柴田一成 2019.3.23 「大人数リレー講義における評価・学習ツールとしてのコンセプトマップの活用—京都大学全学共通科目『宇宙総合学』を事例として—」第25回大学教育研究フォーラム, 京都大学

2. 教育活動

【学内】

①教養・共通科目

- ・「宇宙総合学」(全学共通科目, 前期)

③大学院教育

- ・「高等教育開発論研究 A・B」(教育学研究科, 前・後期)
- ・「高等教育文献講読演習 A」(教育学研究科, 前期)
- ・「高等教育システム演習 A」(教育学研究科, 前期)
- ・「高等教育開発論基礎」(教育学研究科, 前期)
- ・「有人宇宙学」(総合生存学館, 後期)
- ・「教育工学」(教育学研究科, 後期)

3. その他活動

【学内委員】

- ・情報学研究科 複数アドバイザー (学生：社会情報学専攻 Lzang Changhao)
- ・教育学研究科 学生委員
- ・教育コンテンツ活用推進委員会 委員

【社会活動】

- ・日本教育工学会 編集委員

【講演・シンポジウムなど】

- ・田口真奈 2018.6.2 「SD ゼミナール修了生フォローアップ研修」キャンパスプラザ京都, 公益財団法人大学コンソーシアム京都
- ・田口真奈 2018.6.23 「SDGs 時代の教育工学者：2030年の教育と研究を考える」日本教育工学会シンポジウム, 東京工業大学
- ・田口真奈 2018.8.24 「PandA の活用方法について」第一回地球工学科会議, 京都大学工学部桂キャンパス
- ・田口真奈 2018.9.13 「『学会』を問う」第二回全分野結集型シンポジウム, 京都大学
- ・田口真奈 2018.12.14 「なぜグループディスカッション？—グループディスカッションを取り入れた授業デザイナー—」実際に活用できるアクティブ・ラーニング手法紹介セミナー第4回, 首都大学東京大学教育センター, 首都大学東京
- ・松下佳代・田口真奈 2019.2.10 「宇宙総合学で学生は何を学んだか—コンセプトマップから見る—」第12回宇宙ユニットシンポジウム「人類は宇宙社会をつくれるか？—宇宙教育を通じた挑戦—」, 京都大学

【その他】

- ・Sachika Shibukawa & Mana Taguchi 2018.8.1 International Symposium on Educational Technology Best Paper Award 受賞

酒井 博之 (准教授)

1. 研究業績

【学会発表】

- ・重田勝介・酒井博之・辻靖彦・稲葉利江子・平岡齊士 2018.9.28 「日本における OER と MOOC の提供および利用状況の分析」日本教育工学会第 34 回全国大会講演論文集, 69-70, 東北大学
- ・岡本雅子・酒井博之 2018.9.28 「工学系基礎科目における SPOC 活用の試み」日本教育工学会第 34 回全国大会講演論文集, 71-72, 東北大学
- ・喜多一・日置尋久・中津亨・酒井博之・岡本雅子・池田佳代・鈴木聡介・森岡浩美・吉川昌吾 2018.11.19 「一般情報教育における商用教材と検定試験の試用 (2) —2018 年度前期の実践から—」大学 ICT 推進協議会年次大会, 札幌コンベンションセンター
- ・稲葉利江子・酒井博之・辻靖彦・平岡齊士・重田勝介 2018.11.19 「大学における ICT 環境の規模別導入状況に関する一考察」大学 ICT 推進協議会年次大会 (ポスターセッション), 札幌コンベンションセンター
- ・岡本雅子・酒井博之 2018.11.19 「MOOC の運用における改善とその検証の実践的課題について」大学 ICT 推進協議会年次大会 (ポスターセッション), 札幌コンベンションセンター
- ・酒井博之・稲葉利江子・辻靖彦・平岡齊士・重田勝介 2018.11.19 「大学における ICT 利活用教育の組織的支援の現状に関する分析」大学 ICT 推進協議会年次大会 (ポスターセッション), 札幌コンベンションセンター

2. 教育活動

【学内】

①教養・共通科目

- ・「情報基礎演習」(全学向, 前期, リレー講義)
- ・「情報基礎演習」(農学部, 後期, リレー講義)

③大学院教育

- ・「高等教育開発論研究 A・B」(教育学研究科, 前・後期)

3. その他の活動

【学内委員】

- ・国際戦略本部国際化推進懇談会構成員

【社会活動】

- ・大学 ICT 推進協議会 研究員

【講演】

- ・Hiroyuki Sakai 2019.1.11 “Current situation and prospect for MOOC at Kyoto University” Tokyo Tech MOOC Forum 2 (Contributed talk), 東京工業大学大岡山キャンパス.
- ・酒井博之 2019.3.3 「ICT の活用による教育の可能性—LMS を中心に—」LMS (学習管理システム) を生かした教育改革 (話題提供), 第 24 回 FD フォーラム, 大学コンソーシアム京都, 立命館大学. (招待)
- ・酒井博之 2019.3.8 北海道大学オープンエデュケーションセンターフォーラム 2018—オープンエデュケーションとの遭遇—, パネルディスカッション, 北海道大学. (招待)

山田 剛史 (准教授)

1. 研究業績

【著書】

- ・山田剛史 2018.6 「リサーチ・アドミニストレーター」「エンロール・マネージメント」「オフィス・アワー」「インスティテューショナル・リサーチャー」「PDCA サイクル」「大学間連携」児玉善仁他編『大学事典』平凡社.
- ・山田剛史 2018.6 「学習評価の意義と課題を理解する」中島英博編『シリーズ大学の教授法 4 学習評価』玉川大学出版部, 2-9.

- ・山田剛史 2018.6 「学習評価の構成要素を理解する」同上, 10-20.
- ・山田剛史 2018.6 「学習ポートフォリオで評価する」同上, 140-149.
- ・山田剛史 2018.6 「学習評価を授業改善に活用する」同上, 158-163.

【論文】

- ・澤田寛成・柴田昌平・中村憲幸・山田剛史 2019.3 「トランジションの視点を加えたアクティブラーニングの実践と課題—共生（ともいき）の精神を備えた主体性の育成をめざして—」『東山研究紀要』第63集, 25-49.
- ・澤田寛成・山田剛史 2019.3 「東山中学高等学校におけるアクティブラーニングの組織的展開」『平成30年度調査資料（日本私学教育研究所）』第255号

【その他の著作物】

(報告書)

- ・山田剛史 2018.12 「国立大学におけるIRの機能強化と組織開発をどのように促すか」『京都大学高等教育研究開発推進センター教育アセスメント室「国立大学におけるインスティテューショナル・リサーチ（IR）の組織開発と機能強化に関する調査報告書』, 5-8.
- ・山田剛史 2019.3 「新任教員教育セミナー」京都大学高等教育研究開発推進センター『CPEHE Annual Report 2018』, 6-9.
- ・山田剛史 2019.3 「大学院横断教育科目群『大学で教えるということ』」同上, 13.
- ・山田剛史・岡本雅子・川内亜希子 2019.3 「高等教育研究開発推進センターウェブサイト」同上, 17.
- ・山田剛史・勝間理沙 2019.3 「医学部との連携」同上, 33.
- ・山田剛史・川内亜希子 2019.3 「教育学部との連携」同上, 34.
- ・山田剛史 2019.3 「産学協働イノベーション人材育成協議会との連携」同上, 35.
- ・長沼祥太郎・山田剛史 2019.3 「MOOC・SPOCのアセスメント」同上, 36-38.

【学会発表】

- ・山田剛史 2018.6.9 「学生の学びと発達を促す大学教育とは—学生エンゲージメントの視点から—」山田剛史・松本留奈（企画ラウンドテーブル）「大規模学生調査を通して大学教育の将来像を考える—学習環境・社会的側面・発達の観点から—」大学教育学会第40回大会, 筑波大学

(座長・司会)

- ・沖 清豪・山田剛史 2018.6.10 司会「部会15：学生支援」大学教育学会第40回大会, 筑波大学
- ・山田剛史 2018.11.27 座長「研究発表（A）」日本青年心理学会第26回大会, 京都大学

2. 教育活動

【学内】

①教養・共通教育

- ・「心理学概論」（前期）

③大学院教育

- ・「高等教育開発論研究A・B」（教育学研究科, 前・後期）
- ・「高等教育開発論基礎」（教育学研究科, 前期）
- ・「高等教育研究法A・B」（教育学研究科, 前・後期）
- ・「教育科学基盤演習」（教育学研究科, 前期）
- ・「大学で教えるということ」（大学院横断教育科目群, 後期）

3. その他の活動

【学内委員】

(全学・センター)

- ・FD研究検討委員会・委員
- ・吉田南構内安全衛生委員会・委員（衛生管理者）
- ・研究公正推進委員会・委員

- ・大学評価委員会・委員
- ・教育制度委員会：3つのポリシーに関するWG・オブザーバー
- ・教育制度委員会：CAP制に関するWG・オブザーバー
- ・教育IR推進室 アンケート検討部会・委員
(部局)
- ・教育学研究科教務委員会・委員
- ・教育学部特色入試追跡調査WG・メンバー

【社会活動】

- ・高等教育質保証学会・評議員
- ・初年次教育学会・理事
- ・大学教育学会・代議員
- ・大学教育学会編集委員会・幹事
- ・日本青年心理学会研究委員会・委員
- ・文部科学省大学改革推進補助事業「大学教育再生加速プログラム (AP)」委員会・委員
- ・共愛学園前橋国際大学平成26年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム (AP)」評価委員会・委員
- ・東京理科大学平成26年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム (AP)」評価委員会・委員
- ・大学コンソーシアム京都「FDフォーラム企画検討委員会」委員
- ・東山中学・高等学校「学習力強化プロジェクト特別委員会」委員

【講演・研修】

(学外)

- ・山田剛史 2018.4.5 「若者が予測困難な時代を生き抜くために教育はどうあるべきか—政策動向や東山中高での挑戦も踏まえて—」東山中学・高等学校教員講演会 (講演)
- ・山田剛史 2018.5.10 「生徒の『主体的・対話的で深い学び』をいかに促すか—『池高型AL』の在り方を再考する—」大阪府立池田高校教員研修会 (授業参観・検討会, 講演)
- ・山田剛史 2018.6.7 「アクティブラーニングをどう理解し, 組織的に実践するか」徳島県学力向上推進研修会, 徳島県立総合教育センター (講演・ワークショップ)
- ・山田剛史 2018.8.21 「主体的な学びを促す学習評価の方法」高知学園短期大学特別企画研修会 (講演・ワークショップ)
- ・山田剛史 2018.9.12 「学生の主体的な学びを促す授業デザイン—設計から評価まで—」関西福祉科学大学全学FD講演会 (講演)
- ・山田剛史 2018.9.22 「教育改善に向けた学習成果の設定と可視化—学生の学びと成長を促すために—」北陸大学FD・SD研修会 (講演・ワークショップ)
- ・山田剛史 2018.10.7 「高大接続改革とアクティブラーニングの推進」日本薬学会第4回若手薬学教育者のためのアドバンスワークショップ, クロス・ウェーブ府中 (講演)
- ・山田剛史 2018.10.13 「大学教育の質的転換と学生エンゲージメント—主体的な学びをいかに実現するか—」大学英語教育学会 (JACET) 九州・沖縄支部特別研究会, 九州産業大学 (基調講演)
- ・山田剛史 2018.10.20 「21世紀を生きる子どもの学びと成長をどう育むか」東山中学・高等学校教育講演会 (講演)
- ・山田剛史 2018.10.22 「主体的・対話的で深い学び (アクティブラーニング) をいかに実現するか」開星中学校・高等学校公開教育研究会 (研究授業・協議, 記念講演)
- ・山田剛史 2018.12.15 「データから見るアクティブラーニングの効果と課題—東山アセスメントの結果もふまえて—」東山中学・高等学校アクティブラーニング実践研究会2018 (総括講演)
- ・山田剛史 2018.12.17 「学習を成功に導くためのルーブリックをどのように作成し, 活用するか」神戸常盤大学FD・SD研修会 (講演・ワークショップ)
- ・山田剛史 2019.1.7 「主体的・対話的な学び (アクティブラーニング) をどう理解し, 実践するか」大阪市内高校講演会 (講演・ワークショップ)
- ・山田剛史 2019.1.18 「学習成果をどのように測定・把握し, 改善につなげるか—学生の学びの質的向上のために—」大

阪経済大学全学 FD フォーラム (講演・ワークショップ)

- ・山田剛史 2019.2.19 「アクティブラーニングの動向と展望—実践的課題を共有し、解決方法を創造する—」親和中学校・親和女子高等学校 Shinwa Education Forum 2019 (講演・ワークショップ)
- ・山田剛史 2019.2.22 「内部質保証と教学 IR—学修成果をどのように把握し、改善につなげるか—」福井大学 FD・SD シンポジウム (講演・コメント)
- ・山田剛史 2019.2.28 「大学教育における主体的な学びと学生エンゲージメント」埼玉県立大学 FD 研修会 (講演)
- ・山田剛史 2019.3.3 分科会 3 「学生エンゲージメントと自立を促す支援としかけ—学生に関わる専門職の立場から—」大学コンソーシアム京都主催・第 24 回 FD フォーラム, 立命館大学 (趣旨説明・コーディネーター)
- ・山田剛史 2019.3.11 「主体的な学びを促す学習評価の方法」兵庫医療大学看護学部 FD 研修会 (講演)
- ・山田剛史 2019.3.19 「主体的な学びを促す学習評価の方法」人間環境大学松山看護学部 FD 研修会 (講演)
- ・山田剛史 2019.3.24 「トランジションをどう理解し、学校教育に位置づけるか」(シンポジウム「高校から大学, 大学から大学院, 大学から社会へのトランジション」) 第 25 回大学教育研究フォーラム, 京都大学 (シンポジスト)

(学内)

- ・山田剛史 2018.7.12 「教育学部生の意識と「教育研究入門」を通じた学びの変化」第 10 回教育学研究科セミナー (教育学部) (話題提供)
- ・山田剛史 2018.12.22 「IR / 教学 IR とは何か?」第 23 回京都大学医学教育ワークショップ (KUROME), 京都ブライトンホテル (話題提供)
- ・山田剛史・勝間理沙 2018.12.22 「京大医学部における留年者の学習特性に関する探索的検討」第 23 回京都大学医学教育ワークショップ (KUROME), 京都ブライトンホテル (話題提供)
- ・山田剛史 2019.3.22 「教学 IR について—データに基づく議論のススメ—」第 11 回 Health Science Cafe (FD 討論会) (医学部人間健康科学科) (話題提供)

第二部門 (教育メディア研究開発部門)

森村 吉貴 (特定准教授)

1. 研究業績

【学会発表】

- ・森村吉貴・渥美紀寿・古村隆明 2018.10.19 「多様な構成員を持つ大学 ICT 組織への Slack 導入によるコミュニケーション改善試行」大学 ICT 推進協議会 2018 年度年次大会, 札幌コンベンションセンター

2. 教育活動

【学外】

- ・京都外国語大学「情報技術の実践」

3. その他の活動

【学内委員】

- ・情報環境機構将来構想委員会 委員
- ・情報環境機構運用検討委員会 委員
- ・情報環境機構運営委員会 委員
- ・情報環境機構情報セキュリティ委員会 委員
- ・情報環境機構基盤システム運用委員会 委員

【社会活動】

- ・システム制御情報学会 編集委員 (~2018 年 5 月)

岡本 雅子 (特定助教)

1. 研究業績

【学会発表】

- ・岡本雅子・酒井博之 2018.9.28 「工学系基礎科目における SPOC 活用の試み」日本教育工学会大会講演論文集, 東北大学
- ・岡本雅子・酒井博之 2018.11.19 「MOOC の運用における改善とその検証の実践的課題について」大学 ICT 推進協議会年次大会 (ポスターセッション), 札幌コンベンションセンター
- ・喜多一・日置尋久・中津亨・酒井博之・岡本雅子・池田佳代・鈴木聡介・森岡浩美・吉川昌吾 2018.11.19 「一般情報教育における商用教材と検定試験の試用 (2) —2018 年度前期の実践から—」大学 ICT 推進協議会年次大会, 札幌コンベンションセンター
- ・岡本雅子 2019.3.15 「Web プログラミング演習におけるイメージ図使用の効果について」情報処理学会第 81 回全国大会講演論文集, 第 81 巻第 4 号, 4.339–4.340.

2. 教育活動

【学内】

①全学共通教育

- ・「情報基礎演習」(全学向, 前期, リレー講義)
- ・「情報基礎演習」(農学部, 後期, リレー講義)

③大学院教育

- ・「高等教育開発論研究 A・B」(教育学研究科, 前・後期)
- ・「高等教育開発論基礎」(教育学研究科, 前期)

【学外】

- ・京都外国語大学「CG 演習」(前期)
- ・京都外国語大学「Web プログラミング演習」(後期)

3. その他の活動

【学内委員】

- ・情報環境機構 KUINS 利用負担金検討委員会 委員

【社会活動】

- ・情報処理学会コンピュータと教育研究会運営委員
- ・情報処理学会会誌編集委員会教育記事ワーキンググループ (EWG) 編集委員

【講演・シンポジウムなど】

- ・岡本雅子 2018.3.8 北海道大学オープンエデュケーションセンターフォーラム 2018—オープンエデュケーションとの遭遇—, パネルディスカッション, 北海道大学. (招待)

藤岡 千也 (特定助教)

1. 研究業績

【その他の著作物】

(報告書)

- ・藤岡千也・酒井博之 2019.3 「Ⅲ. ICT の教育的利用 1. オープンコースウェア (OCW)」京都大学高等教育研究開発推進センター 『CPEHE Annual Report 2018』, 18–19.

3. その他の活動

【学内委員】

- ・吉田南構内交通委員会 委員

長谷 海平 (特定助教)

1. 研究業績

【その他の著作物】

- ・長谷海平 2018.12 「エンドロールから」『かりん』, 京都大学吉田南総合図書館, 第11号, 14-15.
- ・長谷海平 2019.1 「MOOCのVR化に向けた検討」『看護教育』(特集 VR/AR/MR 教育への応用最前線), 医学書院, 第60巻第1号, 47.
- ・河野亘・鈴木健雄・長谷海平・田口真奈・松下佳代 2019.3 「高校生を対象としたオンライン講義の開発」京都大学高等教育研究開発推進センター『CPEHE Annual Report 2018』, 25-26.

【学会発表】

- ・長谷海平 2018.9.29 「MOOC教材のVirtual Reality化に向けた検討」日本教育工学会第34回全国大会, 東北大学

3. その他の活動

【学内委員】

- ・吉田南構内防火・防災委員会 委員
- ・吉田南構内安全衛生委員会 委員

【社会活動】

- ・CANVAS フェロー